

2023年5月9日

各 位

会 社 名 セイコーグループ株式会社 代表者名 代表取締役社長 高橋 修司 (コード番号 8050 東証プライム市場) 問合せ先 取締役・常務執行役員経理部長 瀧沢 観 (TEL 03-3563-2111)

2023年3月期通期連結業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日に公表した2023年3月期通期連結業績予想数値と実績との間に差異が生じましたのでお知らせいたします。

記

 2023 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異 (2022 年 4 月 1 日~2023 年 3 月 31 日)

(金額単位:百万円)

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|---------------|----------|---------|---------|-------------------------|-----------------|
| 前回業績予想 (A) | 257, 000 | 12,000 | 13, 000 | 8, 500 | 206.00円 |
| 今回実績 (B) | 260, 504 | 11, 233 | 11, 167 | 5, 028 | 121.86円 |
| 増減額(B-A) | 3, 504 | △766 | △1,832 | △3, 471 | _ |
| 増減率(%) | 1. 4 | △6. 4 | △14. 1 | △40.8 | _ |
| (ご参考)2022年3月期 | 237, 382 | 8,770 | 9, 939 | 6, 415 | 155. 56 円 |

2. 業績予想数値と実績値との差異の理由

2023年3月期通期の連結業績につきましては、円安による影響や日本国内におけるコロナからの景気回復、インバウンド需要の戻りなど当社グループ事業へのプラスの影響が多くあった一方、デバイスに関しては上期までの旺盛な需要から下期に急減速し市場環境が急変した影響などにより、営業利益、経常利益が予想を下回りました。また、事業構造改善費用8億円、投資有価証券売却損5億円など特別損失が第4四半期に合計で15億円発生したことや法人税等調整額が想定を若干上回ったことにより、親会社株主に帰属する当期純利益も予想を下回りました。

以上